



令和1年7月吉日

国際ロータリー第2720地区クラブ各位

国際ロータリー第2720地区
地区青少年奉仕部門長 河野誠男

2019-20年度地区青少年奉仕部門セミナー報告書

● 大分会議報告

日時) 2019年7月13日(土)

場所) ホルトホール大分 303・201号室

主催) 2019-20年度地区青少年奉仕部門

記録) 2019-20年度地区青少年奉仕副部門長 井上邦広

司会 内林IA委員

13:00 河野部門長挨拶

- ・青少年奉仕全体へ危機管理重視の活動になる点が、例年と異なります
- ・そのため、行事や活動等大幅な変更があるので前半のプログラムにて説明します

13:10 前田地区研修リーダー

- ・地区ではここ数年青少年奉仕活動に力を入れています
- ・今年度も瀧ガバナーの方針にあるようにIA・RAとの連携を深めていくとあります

13:15 青少年奉仕と危機管理について(河野部門長)

- ・危機管理はRIにおいてもシビアに考えている
- ・きっかけは青少年交換
- ・交換留学生の行き来・滞在における安全確保、学生の保護が目的
- ・青少年交換プログラムをするためには危機管理委員会が必要→設立された
- ・青少年交換は「4つのD」が禁止
- ・ガバナーの公式訪問の際に「ハラスメント」防止ポスター配布します
- ・危機とは：ロータリーにとって好ましくないこと全て(災害等も含む)
- ・危機に該当する事象が発生した際は72時間以内にRIへ文書にて報告
- ・ハラスメント発生後72時間以内に被害者の安全確保→警察へ通報→委員会へ報告
- ・RAについてアルコールは地区行事(=地区主催)については禁止
- ・RA・提唱RC間での懇親会は不問
- ・危機管理委員会からの文書はお願いではなく遵守すべき事柄である
- ・危機管理の手順はフォーマットや明確なルールがあります
- ・IAの台湾研修=青少年交換と同じルールの中で企画運営している
- ・ガバナー命により、台湾研修は中止
- ・危機管理の重点項目として「アルコール」「ハラスメント」の二つがある

特に「ハラスメント」は被害者が「ハラスメント」と感じたら成立。

反論の余地はない...

Q.日田中央RC) RA年次大会懇親会においてもアルコールの提供はだめなのか？

A.部門長) RA・IA年次大会はガバナー招集による地区行事であると明確に示された取り決めはない。しかし今回の通達で青少年が参加する行事とされている以上懇親会場でのアルコールの提供は不可とご理解ください。

ほか数名の方から地区への要望・意見等がありました。＊評価書に記載

13：40 RA委員会活動方針 (安達委員長) ＊資料に沿って説明、ガイドブック紹介

13：55 IA委員会活動方針 (汐月委員長) ＊資料に沿って説明

14：20 青少年交換委員会活動方針 (岡崎委員長、長野さん) ＊資料に沿って説明、経
験談

14：40 RYLA委員会活動方針 (栗津委員長) ＊資料に沿って説明

15：00 ローターアクト・インターアクト分科会 (別紙報告書)

15：50 質疑応答および評価書記入

15：55 講評 (前田地区研修リーダー)

- ・ 青少年奉仕部門はRCの活動の中核
- ・ 今後の皆様の活動が活性化されることを期待いたします

16：00 解散

● 熊本会議報告

日時) 2019年7月14日 (日)

場所) グランメッセ熊本 大会議場

主催) 2019-20年度地区青少年奉仕部門

記録) 2019-20年度地区ローターアクト代表 河津佑実

司会 中山RA副委員長

13：00 点鐘 (瀧G欠席のため硯川GE代行)

13：01 河野部門長挨拶

- ・ 青少年奉仕全体へ危機管理重視の活動になる点が、例年と異なります
- ・ そのため、行事や活動等大幅な変更があるので前半のプログラムにて説明しま

す

13：03 青少年奉仕と危機管理について (河野部門長)

- ・ 危機管理はRIにおいてもシビアに考えている
- ・ きっかけは青少年交換
- ・ 交換留学生の行き来・滞在における安全確保、学生の保護が目的
- ・ 青少年交換プログラムをするためには危機管理委員会が必要→設立された
- ・ 青少年交換は「4つのD」が禁止
- ・ ガバナーの公式訪問の際に「ハラスメント」防止ポスター配布します
 - ・ 危機とは：ロータリーにとって好ましくないこと全て (災害等も含む)
 - ・ 危機に該当する事象が発生した際は72時間以内にRIへ文書にて報告
 - ・ ハラスメント発生後72時間以内に被害者の安全確保→警察へ通報→委員会へ報告
- ・ RAについてアルコールは地区行事 (=地区主催) については禁止
- ・ RA・提唱RC間での懇親会は不問

- ・危機管理委員会からの文書はお願いではなく遵守すべき事柄である
- ・危機管理の手順はフォーマットや明確なルールがあります
- ・IAの台湾研修＝青少年交換と同じルールの中で企画運営している
- ・ガバナー命により、台湾研修は中止
- ・硯川GEより次年度に向けた準備を進めることを許可もらったので準備します
- ・危機管理の重点項目として「アルコール」「ハラスメント」の二つがある
特に「ハラスメント」は被害者が「ハラスメント」と感じたら成立。

反論の余地はない...

Q.人吉RC) アルコールによってどういう事態が起きると想定しているのか？

A.部門長) ①アルコール入ったセクハラを想定

②手に手つないでもセクハラ (RI) →瀧Gは今期「手に手...」しない

インターアクト (未成年) がいる席でのRCの飲酒禁止

同席の場で飲酒する際は席を分ける、危険な人は近寄らせない

飲酒して危ないのはロータリアンなので飲まなければいいだけでは

Q.人吉RC) 個人間で行事後に二次会等飲みに行くのはOK?

A.部門長) あくまでも地区行事内が禁酒というだけ。あとは大人としての判断で。

今までたまたま事故がなかったというだけ

Q.河津) セクハラは男性→女性に限らないので、あらゆる事態を想定してもらいた

い

13：28 RA委員会活動方針 (安達委員長) ※資料に沿って説明、ガイドブック紹介

13：41 IA委員会活動方針 (汐月委員長) ※資料に沿って説明

13：52 青少年交換委員会活動方針 (岡崎委員長、長野さん) ※資料に沿って説明、経験談

14：05 RYLA委員会活動方針 (井上副部門長代行) ※資料に沿って説明

14：25 ローターアクト・インターアクト分科会 (別紙報告書)

15：47 質疑応答および評価書記入

15：49 講評 (硯川GE)

- ・瀧Gが参加している前提で来ていました。まさか講評等をする事になると

は

- ・GEとしての業務も増えてきている中での参加
- ・青少年奉仕部門はRCの活動の中核
- ・アクト提唱していた時、アクト委員長の経験もあります
- ・今日は一会員として勉強させていただきました
- ・ロータリーソングは殺伐としたクラブの雰囲気を和ますために流行歌を皆で歌ったのがきっかけ
- ・日本も最初は英語の曲で歌っていた。戦時中、日本国への忠誠を表すために国旗掲揚と国歌斉唱、日本ver.の4曲が作られた
- ・手に手つないでは日本全体が一つの地区→東西に分かれる際に共通のものを、

という思いのもと作られた歴史がある

- ・女性代表1人目の米村さんは硯川GEの会社の社員だった
- ・IAソング作曲のフジヤマイチロウさん。
- ・色々なクラブへMU (訪問) できるのがRCの特権。様々なことを勉強できる
- ・台湾研修についても、ルールにのっとって開催できるように進めたい

・交換留学生の話より、「目を見て話す大切さを知った」これはとても大切なこと

・日本人RC第1号フクシマキサジさん（佐賀）ダラスクラブの入会ご日本に帰国東京RC設立に向け活動していた

・講評はしない予定だったが、一日勉強する中で熱い思いがこみ上げてきました

16:00 点鐘 （瀧G欠席のため硯川GE代行

● 青少年奉仕部門セミナー（大分） IA委員会分科会 議事録

進行：内林 地区IA委員

1) インターアクト海外研修申請書について 担当 汐月地区IA委員長

・先日の全国危機管理委員会で頂いた、インターアクト用の海外研修申請を配り説明

・配布した資料に基づき、書き方等説明

・この申請書には、ガバナーの署名をもらうことが必須になります。これにより、ガバナーが、クラブで、そういう活動をしているのを知らなかったということを無くすることが重要な点です。

・本人と保護者への派遣の許可と宣誓の書類もあります。本人と保護者には、十分に内容を読んで頂き、理解して頂く必要があります。

この内容に関して、特に質問等はありませんでした。

2) インターアクト定款・細則について 担当 阿部地区IA副委員長

・参加者にインターアクト必携を配り、定款・細則を見てもらいながら説明。

・定款は、必ず守らなければならないものです。細則に関しては各クラブで話し合い決めて下さい。

・以前は、月に2回の例会を定められていましたが、定款・細則が変わり、クラブで例会の回数を決めて良いこととなりました。

・クラブの例会や理事会には、ロータリアンの参加をお願いします。

・インターアクト必携の中のインターアクトクラブ要覧を是非、一読してください。

様々なヒントがたくさんあります。

この内容に関して、特に質問等はありませんでした。

3) グループ討論。（提唱クラブと未提唱クラブを混在してグループ分け）2グループ

テーマ) ①IACを提唱するまでの流れ ②現在の活動状況（例会・奉仕活動） ③

提唱して良かった点 ④現在、抱えている問題点 ⑤未提唱クラブからの質問 ⑥IAC及びRCを活性化するための取組 ⑦地区に対する要望

提唱について

・提唱したいと考えているが、クラブ内で温度差がある。（未提唱クラブ）

・一度、駄目になっても別の学校で再挑戦できる

・予算的に厳しい面もある

・最初は、ボランティア部から始まった。そこから再スタートした。

清掃活動にロータリアンも参加し、コミュニケーションを図っていった。

・学校の信頼を得ることが難しかった。

・2学期から作り、10月に設立総会をした。

・インターアクトクラブは内申書の評価が高い

- ・青少年の事業はこれから必要なことだと思う。提唱を検討していきたい。

問題点

- ・学校の中で、IACより、J R C（赤十字）のウエイトが大きい
- ・顧問先生の協力がなかなか得られない。
- ・IACで現在、例会を行っておらず崩壊状態。先生に働きかけているが反応がない。他の学校に変えることも検討している。

その他

- ・年間のスケジュールは決まっている？ 決まっている。生徒の要望があれば追加する
- ・他校とのスケジュールの共有が出来れば有難い

● 青少年奉仕部門セミナー（熊本） IA委員会分科会 議事録

進行：中尾 地区IA副委員長

1) インターアクト海外研修申請書について 担当 汐月地区IA委員長

・先日の全国危機管理委員会で頂いた、インターアクト用の海外研修申請を配り説明

・配布した資料に基づき、書き方等説明
・この申請書には、ガバナーの署名をもらうことが必須になります。これにより、ガバナーが、クラブで、そういう活動をしているのを知らなかったということを無くすることが重要な点です。

・本人と保護者への派遣の許可と宣誓の書類もあります。本人と保護者には、十分に内容を読んで頂き、理解して頂く必要があります。

質問)

①インターアクト生以外でクラブから派遣する場合も必要ですか？→必要です

しかし、これにはインターアクトと書いていますので違うのではないですか？

②この書類の提出は、18歳以上でも対象となるのですか？

③相手からの派遣に対しても書類が必要となるのですか？

④書類を提出しなければならない明確な理由を教えてください。→大事なことは、やはり両地区のガバナーが活動を知らないということを無くすることです。それと、ロータリアン、派遣する学生、保護者へ派遣に対する心構えと理解を得ることです。

上記の質問に関して、一度持ち帰らせて頂きました。RYJYEMへ問い合わせをして、現在、返答待ちです。

2) インターアクト定款・細則について 担当 阿部地区IA副委員長

・参加者にインターアクト必携を配り、定款・細則を見てもらいながら説明。
・定款は、必ず守らなければならないものです。細則に関しては各クラブで話し合い決めて下さい。

・以前は、月に2回の例会を定められていましたが、定款・細則が変わり、クラブで例会の回数を決めて良いこととなりました。

・クラブの例会や理事会には、ロータリアンの参加をお願いします。
・インターアクト必携の中のインターアクトクラブ要覧を是非、一読してください。

様々なヒントがたくさんあります。

質問)

①定款の中の会費のところで、入会金、会費、または分担金と書いてある。今後、

IACにも分担金を要求されることが起きてくるのではないかな？→RIからそのような要求が来るかは私達もわかりません。

3) グループ討論。(提唱クラブと未提唱クラブを混在してグループ分け) 3 グループ
テーマ) ①IACを提唱するまでの流れ ②現在の活動状況(例会・奉仕活動) ③
提唱して良かった点 ④現在、抱えている問題点 ⑤未提唱クラブからの質問 ⑥IAC
及びRCを活性化するための取組 ⑦地区に対する要望

提唱について

- ・小さなクラブでIAC未提唱。どのように活動したらよいか手探り状態。
子供たちにとっては、いい経験になる。(IAC経験者)
- ・まずは、【覚悟】が必要
- ・ボランティア部から名称変更でインターアクトクラブ発足した例もある
- ・学校長の異動のタイミングで提唱した。顧問の先生の熱心さで変わる
- ・提唱を考えている。PTAの繋がりがある高校があるのでアプローチをしてみよう
思う
- ・IACを生徒会付のクラブとして位置付けている学校もある。生徒会の役員が必ず入るので途切れることはない。

例会・活動について

- ・年に1回、ロータリーの例会へ先生とIA生を参加してもらっている
- ・RCの青少年奉仕行事の際、交流している。(IACの生徒がお手伝い)

問題点

- ・子供たちの熱意に温度差がある。校長先生、顧問教師も同様
- ・RCのメンバーの中でも、温度差がある。他の会員が活動を知らない

地区への要望、その他

- ・年次大会、インターアクトに仕向けることの難しさ、苦労がある
- ・本日、顧問教諭も参加すると思っていた。ロータリアン、顧問教諭の勉強会・連絡会を開催してほしい。
- ・インターアクト必携をクラブの例会の中で勉強するのは、なかなか時間が取れない。毎年、生徒も変わっていくので地区で勉強会を開催してほしい。
- ・昨年の台湾研修で、地区から直接、学校へ連絡をされたことがあった。いかがなものか？申し訳ありません、それは私たちの進め方が間違っております。
- ・今後は、地区→提唱RC→IACの流れを遵守します。

● 青少年奉仕部門セミナー(熊本) RA委員会分科会 議事録

ローターアクト委員会部門(提唱しているクラブ、興味があるクラブ)

ローターアクトへの取り組み方(安達委員長)

- ・委員が8名になったので、各提唱クラブや未提唱のクラブへ訪問しサポート
できる体制を整えています

ローターアクトのRI加盟について(中山副委員長)ロータリーの友6月号より

- ・この変化により、RACの活動が変わることはない
- ・RIへの会費は今のところ無。今後発生する可能性は有。

ローターアクトの現状について(河津)

地区補助金の活用について（中野委員）ロータリーの友6月号より

- ・申請はRCしかできないが、RCとRAC共同の事業であれば申請可
- ・健康、教育、貧困に関する活動のみ申請可（財団の使命に基づく）
- ・地区補助金：事業費の50%まで（寄付額による上限あり）
- ・2014年より奉仕プロジェクト事業としてRACもOKになった

ただし、事業対象が毎年変わらないといけない（対象が変わらない継続事業は不可）

- ・今期は申請期間終了。今から準備して来期使用はまだ間に合う
- ・RACと共同の事業をぜひ検討してもらいたい

Q.RACの地区補助金の使用例があれば教えてください

A.人吉RC：含め第6グループの一員として人吉RACも当日スタッフとして
チャレンジカップの開催に使っています

ディスカッション「ローターアクトについての情報交換」（3グループ）

- ・各RACクラブの会員数、例会へのRC参加状況、RC→RACへの補助金、委員会（RC）としての方針などの情報交換
- ・他クラブへの質問として、会員増強に関する質問がほとんど
増強の成功例や勧誘のポイントなど

● 出席者数

大分会議 出席21クラブ42名 欠席13クラブ

熊本会議 出席31クラブ61名 欠席10クラブ